

品目：ほうれんそう

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	目標収量：1,000～1,500Kg						
栽培体系	パルク (晩抽) サンライト 省力化 + 断根防止 (間引き) シーダテープや コート種子を利用する。 サンライト おかめ トニック 0日 → 発芽から15日→本葉2枚→生育が急激に伸長→25～35日→ リード オーライ												種子量：6～8ℓ コート種子(株間5～7cm)90～130千粒 シーダテープ(1粒/5～7cm)4300～6500m 栽植株数：8～13万株、畝幅：135～144cm、条間：15～20cm、株間：5～7cm	元肥	肥料名	数 量 (Kg)	成分		
													完熟堆肥		1000	PH：6.3～7.0 有効態リン酸 40 mg以上 N：16～20 P：12～14 K：14～16			
病害	立枯病・べと病 ネキリムシ・ヨトウムシ・ハモグリバエ・ダニ・アブラム												・ 夕方灌水は病害多発となります注意！ ・ 薬散は葉体温の低い早朝に！						
栽培上のポイント	1、ハウス環境、条件の整備 ・ 陽光、通風、排水が良く、肥沃な土壌 ・ PH：6.3～7.0(5.7以下で生育不良)苦土石灰は対比とともに、播種20～30日前に施す。PH6以下では消石灰で調整する。 ・ EC：0.3～0.7(1以上で立枯病多発) ・ 有効リン酸40mg以上												5、灌水<早朝～午前中、夕方はしない>				かん水 の目安		
	2、播種準備 ・ 生育期間が30日前後なので基肥(速効性)を主体とする。 ・ 高温期は1～2割り減肥とする。 播種7～10日前から遮光(熱)して地温を下げる。(23以下)発芽適温→15～20℃ 発根適温→±24℃ 温度と生育 25 + 水分過多→立枯病 23 + 水分過多→生育抑制 20～15 生育適温 生育と温度 25℃+水分過多で立枯症 23℃+ 生育抑制 20℃ 15℃ 発芽適温 15～20℃ 24℃±根の伸引 ★根の分布 (cm) 0 30 60 30～40cm位まではPH6.5～排水良好												3、播種：涼しい条件で行う。 ・ 間引きによる断根防止と省力化のため、テープでは土としっかりと密着させ(軽く鎮圧)発芽まで乾かさないうこと。 3間2～3ベッド：床90～100cm幅(a当り)						
栽培上のポイント	シルバータフベル ダイオシート (10:00～15:00) しゃ光資材ビニールフィルム (屋根部のみ被覆) かん水 ノズルライン 強風 虫予防に 寒冷しゃ サイド は解放 排水溝 30cm以上 ベッド幅 120cm 45cm 通路 45cm 120cm 45cm 120cm 45cm 間口 5.4m 雨よけハウスの設置の方法												かん水量(mm) 20～30 0～1.5 0～3 5～10 0 かん水 の目安 うね立て 播種前に十分にかん水 かん水 (水分)目標 少ーしがまん! 播種後日数 0 5 10 15 20 25 30日 生育段階 うね立て 播種 発芽 本葉 2～4枚ごろ 収穫 10日前 草丈 15cm 20cm 収穫						